

事務事業名		勤労青少年ホーム施設管理事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業								
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目								
	施策名	24 雇用の創出と安定					会計	款	項	目	事業				
	基本事業名	03 勤労者福祉の推進			☐ 単年度のみ		01	05	01	02	05				
所 属	根拠法令	大船渡市勤労青少年ホーム設置管理に関する条例			☒ 単年度繰返 (開始 昭和47 年度 ~)										
	部課名	商工観光部商工観光物産課			☐ 期間限定複数年度 【計画期間】										
	係 名	労政係	電話 内線	27-3111 112	年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											全体計画(期間限定複数年度のみ)				
勤労青少年ホームの施設及び設備等の維持管理を行う事業である。主な事業内容は、施設等の使用許可に関する業務(施設利用登録・利用証交付、専用使用許可申請受付・使用許可書交付)、施設等の維持管理に関する業務(施設・貯水槽清掃業務、浄化槽維持管理業務、夜間警備業務、自動ドア保守点検業務、消防設備点検業務等)である。 平成18年度に、大船渡市体育協会を指定する指定管理者制度を導入し、事業費の大半は、指定管理料として支出される。											総 投 入 量 (千 円)	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	
														都道府県支出金	
														地方債	
														その他	
														一般財源	
														事業費計 (A)	0
人 件 費	正規職員従事人数														
	延べ業務時間														
	人件費計 (B)	0													
	トータルコスト(A) + (B)	0													

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 使用許可件数	件
施設等の使用許可に関する業務		イ 各種設備等の保守点検項目数	件
施設等の維持管理に関する業務		ウ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
前年度と同様		名称	単位
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		市内に住所又は勤務先を有する35歳以下の勤労者数	人
市内に住所又は勤務先を有する35歳以下の勤労者		カ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
自主活動を活発にさせる。		ク	
施設を良好に維持管理し、利用者が安全に利用できるようにする。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	単位
安心して働いてもらう。		サ 勤労青少年ホーム利用者数	人
充実した余暇活動をしてもらう。		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	1,580	1,922	1,872	2,141	1,226	1,226
			事業費計 (A)	千 円	1,580	1,922	1,872	2,141	1,226	1,226
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	400	100	100	100	100	100	
		人件費計 (B)	千 円	1,600	400	400	400	400	400	
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	3,180	2,322	2,272	2,541	1,626	1,626	
活動指標		ア	件	539	608	563	594	518	518	
		イ	件	29	29	29	29	29	29	
		ウ								
対象指標		カ	人	4,600	4,600	4,693	4,693	4,693	4,693	
		キ								
		ク								
成果指標		サ	人	7,899	9,353	9,850	9,288	9,095	1,651	
		シ								
		ス								

事務事業ID	1223	事務事業名	勤労青少年ホーム施設管理事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和47年に勤労青少年ホームが開館したことによる。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 開館後30年以上が経過し、施設の老朽化が目立っている。雨漏り修繕、高架水槽修繕、漏水発生など毎年のように修繕が必要とされる。 平成14年度には、働く婦人の家が併設され、一体としての利用が図られている(教室・講座の共催、合同まつりの開催など)。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 利用者からの施設の修繕や設備の更新についての要望が多い。 勤労青少年ホームの利用を30歳以下の勤労青少年に限定していることから、広く市民に開放できないかとの声がある。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 施設設備の維持管理を充実することにより、その機能が良好な状態で利用に供されることから、勤労者福祉の推進に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 市所有施設であり、勤労青少年の余暇活動や各種教室を開催するうえで欠かすことができない施設である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 勤労青少年が充実した余暇活動を行うことが目的のため、対象及び意図は適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 施設内の故障箇所や不具合箇所を修繕することにより、利用者が安心して利用できる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事業を廃止した場合、施設等の破損や故障が放置されるため、施設の機能が損なわれ、快適な余暇活動等に支障をきたす。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 他に類似事業がない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 老朽化により、施設等の故障や不具合箇所の増加が見込まれることから、事業費削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 施設等の保守点検に係る管理委託に代えて、平成18年度から指定管理者制度(使用許可業務と維持管理業務)を導入した。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 設置目的から、施設等の使用は無料としているが、講座や教室等に参加し、傷害保険等を伴うものは、自己負担としている。

事務事業ID	1223	事務事業名	勤労青少年ホーム施設管理事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 設置されてから相当の年月が経つことから、修繕箇所が多く、また全てを修繕するには相当の期間を要する。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 施設等の修繕に係る予算を増額し、維持管理を充実する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 施設等の修繕を計画的に実施する。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商工観光物産課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 施設の修繕等については、指定管理者である大船渡市体育協会と協議を行いながら、利用者の利便性の向上に努める。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●	○	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●	○																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
